

	<h2>第1学年 学年通信 第6号</h2> <h1>人間力×実践力</h1>	
--	---	--

1年生の皆さん、分散登校から徐々に授業が始まり、1か月が経ちました。湘南学院高校での生活も慣れてきましたか？奇数、偶数チームに分かれてのクラスメイトとの学校生活でしたが、いよいよクラス全員での生活がスタートします。楽しみにしていた人も多いのではないのでしょうか。また、新たな出会いに少し緊張している人もいると思います。これからの時期は、6月から築いてきた仲間の輪をさらに広げるチャンスでもあります。話していて落ち着ける、和む、おもしろいと感じる、和気あいあいとコミュニケーションが図れる、お互いに切磋琢磨できる、そんな仲間を見つけてください。学習、部活動、学校行事に共に打ち込める仲間作りや環境作りをしていってほしいと願っています。

学習面でも、前期中間試験に向けて、本格的に高校学習がスタートしています。そして、7月20日～22日は高校で初めての定期試験が実施されます。定期試験は、年4回あり、前期末と学年末に成績が出ます。そして、1年生から3年生までの評定の平均値が調査書として記載され、進学先（就職先）の提出書類として用いられます。つまり、**高校3年次の進路決定に影響する成績は、すでに今回の試験も対象**です。高校生活の本格化とともに、友人と楽しく過ごしたり、部活動に打ち込んだりと待ちに待った生活のスタートに、今までできなかったことを思う存分楽しみたい気持ちもあるかと思いますが、きちんと学習に取り組む時間も設けて、学習時間を確保してください。試験範囲の確認、これまでの復習、理解できていることとできていないことの把握、足りない部分をどう補うか、週間学習計画など、今求められるのはこの先を見据えた行動です。定期試験で全力を発揮できるよう、前もって対策をしていきましょう。ここでは、学習に大切なことから、以下の2点を取り上げてみたいと思います。

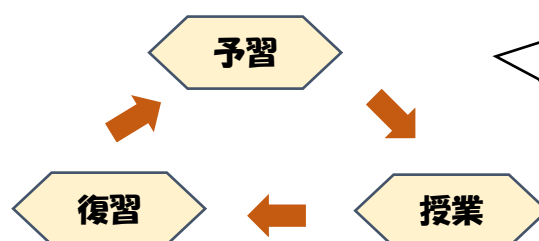
学習について考えてみよう

ポイント①

「黄金のサイクル」を確立しよう



高校学習で、まず大事なものは予習です。授業は、予習の確認の場であって、予習の際、どこが分かって、どこが分からないのかを把握して、授業でその箇所の説明を聞いて確認する、ということが大切です。そして、復習で内容理解の定着を目指します。この繰り返しをよく『黄金のサイクル』と言います。皆さんも自分の黄金のサイクルを確立して、苦手科目克服を目指す、苦手科目を作らない、得意科目を伸ばすなど、自分の目標とする学習レベルへの到達を目指してください。



プログレスノート
P.27『高校学習の掟』
も読んでみよう

予習

単語調べ、教科書を読む、教科書の問題を解くなど事前に取り組む
「分からない、解けない＝終わり」にせず、辞書を使い、教科書を読むなど、できる努力をする
どこが理解できたか、どこが理解できなかったかを把握、疑問点を整理する
前回の授業で習ったことの再確認をする

授業



先生の説明をよく聞いて、疑問点を解消する
板書以外にも、大切な情報はノートにメモをする
新たに気づいたポイントも確認する

復習

授業で気づいた内容を振り返る、予習での疑問点が解消できたかを確認する
問題の解きなおし、類似問題などを解いてみる
覚えるべきことを確認する

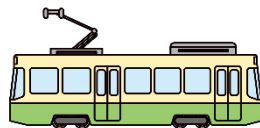
ポイント②

「スキマ時間」を確保しよう



そうはいつでも、なかなか普段学習時間を確保するのは難しい、毎日忙しくて帰宅した後は食事と寝るだけ・・・という状況でも学習時間を作る工夫が大事です。たとえば、登下校中の時間、電車やバスの中での時間は、たとえ短時間でも、時間を区切って取り組める暗記系学習をこなすには、おすすめです。イヤホンでタゲ友を聞く、スタディサプリの視聴をするなども有効です。それぞれ倍速機能もついているので、限られた時間の中でもそのときの状況に合わせて調整可能です。通学時間での学習は難しいという人は、歯磨きの時間、登校後～先生が来るまでの時間、朝のHR後の10分間、授業の合間の休み時間、TVをだらだら見るのではなく、見たい番組をあらかじめ決めて確保する時間、CM中、寝る前にスマホを見る前の少しの時間など、工夫次第でスキマ時間は作り出すことができます。皆さんもスキママスター（スキマ上級者）を目指して、少しの時間でできる暗記系学習を効率よく進めてみましょう。その他の時間で、まとまった時間を確保して思考系学習（英語で言うなら長文問題など）に取り組むなど、課題のタイプ別に分けて取り組むことで、時間使いの上級者になれるはずです。

そうだ、
この時間を使ってみよう



スタディサプリ



ターゲットの友

友人について考えてみよう

これから皆さんは、同級生との関わり、部活動の仲間との関わりなど新たな人との出会いから関係性を築き、共に高校生活を送っていきます。そこでこの機会に、友人関係について考え、これからの充実した高校生活に活かしてほしいと思います。

これまでは、近所に住み、幼い頃からの友人や、小中学校と顔なじみの友人が多い中で生活が主だったと思いますが、高校では通学範囲も広がり、新たな出会いが多いことでしょう。その中では、「この子はこんなキャラだ」という理解は当然なく、これまではお互いに気心が知れていて通じ合えたことも、今はないのが現状です。“ノリ”で受け入れられてきたことも、その多くが通用しません。新たな出会いの中で、これまで築いてきた友人関係の中で許されてきたこと、受け入れられてきたことが当たり前ではないというその現状の認識と友人への気遣い、自分を律した行動が大切です。次に挙げるのは、私が今までの担任経験の中で寄せられた友人関係の悩みからの問いかけです。

皆さんもこんなこと、
ありませんか？



いつも一緒にいる友人、でも時にその関係が重たく感じてしまうことはありませんか？

いつも一緒に、その友人たちの輪の中にいないと何か言われてしまうのでは、と不安になることはありませんか？

SNS がコミュニケーションツールとして大きな割合を占めている今、既読スルー、未読スルー、即レスなどそういったレスポンスを気にしすぎていませんか？

自分のことを分かってくれる人がいない・・・と悩んでいませんか？

これまで、自分と気が合わない、何か気に入らない、反応がおもしろいから、などそんな気持ちから友人を傷つけてしまったことはありませんか？

友人関係に悩み、傷つく、または相手を傷つけてしまうことは、人付き合いの中では時々起こることですが、そうなる前に防ごうという配慮が必要だと思います。

社会学を専門とする著者、菅野仁さんは『友だち幻想』の中で、「誰もが人と親しくなりたい、人と人とのつながりの中で幸せを感じたいと願うものであるが、現代はそれを求めることによってかえって傷ついたり、人を追い詰めたりするような状況に陥ることがある。そこで大切なのは、人と人との距離感であり、お互いに傷つけない形で、ともに時間と空間をとりあえず共有できる作法を身につけることだ」と述べています。「人とつながってほしい、でも傷つくのは嫌だ」という、一見矛盾したあり方とどう向き合っていくか。それは自分にとって、「信頼できる他者」と思える人を見つけることだそうです。

私たち誰もが、この人とは気が合う、また逆に、この人とは気が合わないと感じることはあると思います。しかし、そのときに自分がどう行動するか、どう行動できるかを考えておくことが大切です。そう感じたときに、仲間外れにする、疎外するのではなく、最低限のマナーと配慮は必要で、一定の距離感を持って接するだけでお互いの関係性は成立しているのではないのでしょうか。無視するのではなく、挨拶や必要な会話はしたほうがお互

いの関係性は良好なものになると思います。一見、良好な友人関係を築く上で、“距離を置く＝冷たい”という感覚を受けるかもしれませんが、気まずい雰囲気になる、嫌な思いをすることを考えれば、よほど良好な関係と言えるのではないかと思います。

それでも、時に、思いがけないことから友人を傷つけてしまったときは、自分とは違う価値観や物事に対する感じ方を理解し、丁寧に謝る姿勢を持っておくことも大切です。そういった、良好な関係作りができるようなコミュニケーション力を身につけ、高校生活を一層充実したものにしてほしいと思います。また、何か困ったこと、悩むことがあればいつでも相談に応じます。そういうときは遠慮なく、相談してください。



保護者の皆さま

先日は、各クラスの保護者会へのご参加、ありがとうございました。生徒さんの一人ひとりのご家庭での様子をうかがい、建設的なご意見等いただきましたことを感謝申し上げます。今後の指導や一人ひとりの成長のために、教職員一同、精一杯努力致します。

6月初めの2日間はオリエンテーションでした。授業や成績の話、生活面での話、校舎案内と親睦を兼ねて校内ウォークラリークイズの実施等、まだまだ不慣れな生活の中でも、しっかり集中して話を聞く場面、親睦で班員と交流を図る場面と、メリハリをつけて過ごせた2日間となりました。また、何よりも元気よく挨拶をしてくれ、人と会う機会が少なかった数か月間を考えると、学校生活の再開を、緊張しながらも心待ちにしてくれていたのだと実感しました。学校再開後、最も重視した活動の一つは親睦です。休校期間中は、主にClassiでのやりとりで、学習記録、また1日の振り返りとして、体調面の報告、その日活動したことの報告など生徒たちは入力してくれました。そのコメントを読んでいると、5月中旬頃から「何もやる気がしない」「もう飽きた」など、Stay Home 疲れを感じるコメントが増えてきました。長く続いていた休校期間を考えれば、よく分かります。また、「友人ができるか不安」といったコメントも多くありました。そこで、分散登校、かつ半日登校の中で、クラスメイト同士で話ができるきっかけ作りをしたい、楽しく笑って過ごせる時間を作りたいということが担任団の共通の思いでした。その思いから実施した校内ウォークラリーは、微小ではあったかもしれませんが、生徒同士の交流の場を広げるきっかけになったのではないかと考えています。その後も、オリエンテーションの一環で、学習面の話、進路の話と各クラスで取り組みながら、授業も本格的にスタートしています。

さて、1年生の大きな目標の一つは、次年度（2年生になった際）のコース・文理選択です。高校卒業後の進路目標を考え始め、自分の適性を考える時期が近づいています。まずは7月の予備調査から段階的に始まり、9月に本調査を配布して10月に締め切り予定です。ご家庭でも相談にに応じていただくなど、ご支援をお願い致します。学校でも進路指導係と連携して、必要な情報の提供、また相談に対応致します。ご質問、ご不安なことなどありましたらお声がけください。

ようやく、徐々にではありますが、通常の高校生活に戻りつつあります。「新しい生活様式」に沿った高校生活の始まりではありますが、多くのことを経験できる貴重な10代を、充実して過ごしてほしいと願っています。そして、悩み、焦り、不安、楽しみ、感動など経験する様々な感情に寄り添い、生徒の皆さんとともに過ごしていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

